



出水高校だより

第二十八号

令和四年三月十五日

クラスマッチ



三月十五日(火)に、三学期クラスマッチが行われました。感染症予防のため、一年生は午前中に、二年生は午後に分けて実施されました。どの競技でも、選手は一所懸命プレーしていました。

困難な3年間でも
青春を謳歌

南日本新聞三月四日(金)付けの「ひろば」欄に、

池江周平教諭(国語科)の投稿が掲載されました。

卒業生に対しての、心温まるメッセージが綴られています。転載しますので、どうぞお読みください。

島津雨と呼ぶにはいささか強い雨が降った1日。高校の卒業式が行われた。今年の卒業生はコロナ禍の真ただ中を経験した卒業生だった。縮小、延期、そして中止。これらの言葉に翻弄された3年間だったといえる。特に高校生活で最も楽

しみにしていた学校行事である修学旅行は、度重なる延期から中止となった。なんとか実施したい思いで職員は奔走したが、感染症対策による休校や緊急事態宣言が逆風となり見送られた。

そんな中でも縮小して実施された文化祭や体育祭では、制限された中で主体的に取り組む姿が見られた。限られた時間や場所で、生徒たちが青春を謳歌している姿は、暗鬱になりそうな学校生活に差す光だったように思える。

4月から、卒業生全員が新成人となる。新たな旅立ちに幸多からんことを祈っている。